大正中学校だより

令和５年度　第７号

令和５年１１月２日発行　横浜市立大正中学校

大正中学校ホームページ　http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/taisho

大正中学校教育目標

未来に向かって心豊かにたくましく生きるために

- **自らの生き方を創りだし、より広く・より深く考え、課題解決に向けて粘り強く取り組む力をつけます。（知・開）**
- **互いの違いを認め合い、思いやりの心を持ち自他の生命と人権を大切にします。（徳・体）**
- **あいさつを大切にし、社会への視野を広げ、地域や社会に貢献できるようにします。（公・開）**

お天道様（おてんとさま）はお見通し

校長　木村 達洋

自分を含めご年配の皆様にとっては、時代劇でよく聞いた懐かしい言葉ではないでしょうか。

意味としては、
「世の中すべてを明るく照らしている太陽は、どんな小さな、ことでも、全て見ているので、悪いことはできない、という戒め」です。

「誰も見ていないから」「バレなければ大丈夫」と思っていても、いつかはわかってしまう。少なくとも自分はわかっているので、その後ろめたさはずっと消えることがない。

『交通事故を起こしているのに逃げる』『お店で会計をせずに商品を盗む』『子どもや孫を装い「おれおれ詐欺」で高齢者をだます』『放置されている自転車を勝手に利用する』などなど。毎日のように報道されるニュースでは、昔からこの言葉を顧みない大人の行動の愚かさが繰り返されていると感じます。

この言葉は、「悪い事」に対して使われることが多いですが、考えようによっては、「良い事」にも使えるのではないでしょうか。
『ゴミを外に捨てないようにいつも持ち帰る』『お年寄りや体の不自由な方に席を譲る』『悪口を言わずに相手の良いところを見つける』『挨拶をいつも大切にする』などなど、良い事は、時に「当たり前」と思われてしまい気づかれることなく褒められることもないかもしれません。でも、「お天道様はお見通し」。必ず、どこかで誰かが見ています。

大人の「悪事」を手本にせず、地道ではありますが「善事」を積み重ねていくことの大切さを、子どもたちには学んで欲しいと思います。
大正中の子どもたちが、素晴らしい大人へと成長することを願うためにも、今の大人たちの行動が「良き見本」とならないといけないと考えます。大正中もそんな子どもたちを育成することができるように頑張ります。

大正祭　耀（かがやき）
～笑顔と感動、そして伝説へ～

１０月１９日（木）、２０日（金）に大正祭が行われ、一日目は開会式、展示やステージ発表、二日目は合唱コンクールが実施されました。

＜一日目　午前　開会式・ステージ発表＞

実行委員さんによるスローガンをもとにした壮大なスケールの「オープニング　ステージ劇」から始まり、実行委員長さんのあいさつなどの後、美術部作成の壁画の紹介（上　写真）を行いました。

式後は、「平和スピーチ」「英語弁論」の学校代表者の発表、吹奏楽部の演奏を行いました。吹奏楽部の演奏には３年の先生方も歌で出演や、アンコールの追加演奏が行われるなど大変盛り上がりました。

＜一日目　午前・午後（学年入れ替え）展示見学＞

昼食をはさんで午前は１，２年生、午後は３年生が展示見学を行いました。３年の修学旅行や２年の鎌倉遠足での学習の様子や、生徒会の活動報告、個別支援学級・各教科における生徒の作品展示、文化部の活動による作品展示などがあり、これまでの取り組みの成果の発表となり、興味深く見学をしておりました。展示団体は次の通りです。

〇生徒会本部（活動報告）〇3学年総合（修学旅行における平和学習の取り組み展示）〇2学年総合（鎌倉校外学習の取り組み展示）〇個別支援学級（作品展示）　〇国語科（作品展示）〇社会科（作品展示）〇理科（作品展示）〇音楽科（作品展示）〇美術科（作品展示）〇家庭科（作品展示）〇美術部（個人作品展示）〇美術部（作品展示）　〇科学部（作品展示）

＜二日目　合唱コンクール＞

夏休み前後から、目標づくりや選曲、指揮者・伴奏者・パートリーダー選出などの準備をし、９月中旬からは本格的に練習をスタートし当日を迎えました。

一時は感染症の心配もしましたが、学年を超えた交流会や保護者の参観など、なんとか以前の通りの実施をすることができました。

どの学年、クラスも練習の成果が存分に発揮された素晴らしい発表となりました。特に、さすがに上級生ほどその歌声のレベルの高さが感じられ、感動の一日となりました。

結果は次の通りです。

発表へ向けて皆で一つ一つ積み重ね、乗り越えて成功へつなげていくことが行事の大切な意義であると感じています。特に３年生は後輩へ良き伝統をつないでくれました。

また、実行委員の皆さんも、企画・運営、準備とありがとうございました。開閉祭式も含めて、行事の良さを

感じることができる時間となりました。

訂正版

大正祭　♪合唱コンクール結果♪

1年の部	最優秀賞	3組（地球星歌）	優秀賞	1組（大切なもの）
2年の部	最優秀賞	2組（HEIWA の鐘）	優秀賞	4組（輝くために）
3年の部	最優秀賞	4組（ヒカリ）	優秀賞	1組（蒼鷺）

2学年で「がん教育」の授業を初めて実施しました

１０月５日（木）６校時、講師として 神奈川県がん患者団体連合会 事務局長 長谷川 一男さんをお招きして、２年生対象に教室をネットでつないでの配信による「がん教育」の授業を行いました。

がんについて正しく理解すること、もしまわりの人が「がん」になった時に自分ができること、健康と命の大切さについて主体的に考えることができることをねらいとして実施しました。

生徒にとっては「がん」という病気は知っていても、不安なイメージだけで、正確な理解をしている生徒はあまりいません。正しく理解することで、授業のねらいにより近づくのでないかと感じています。

「戸塚っ子いきいきアートフェスティバル」に吹奏楽部が出演しました！

９月３０日（土）戸塚小学校の体育館にて「戸塚っ子いきいきアートフェスティバル」が開催されました。これは、文化芸術を生かした戸塚の街の魅力づくりの一環として区内学校の児童、生徒の様々な文化活動の様子を多くの区民の皆様に発信するイベントです。

大正中の吹奏楽部が午後の部の一番に出演し、素晴らしい演奏を披露しました。

個別支援学級　合同体育祭

第６２回横浜市中学校・義務教育学校個別支援学級 合同体育祭が三ツ沢陸上競技場にて開催され、大正中は１０月１８日（水）午前に参加しました。今年度も、市内を４つのブロックに分けて半日の実施となりました。

天気にも恵まれ、400m 走・ボール投げ・走り幅跳び・50m走・100m走・リレーと分担して競技に応援に、皆、精一杯頑張りました。

＜主な行事予定＞※状況によっては変更となる場合があります。

１１月１、２、６、７、８（水、木、月、火、水）　３年個人面談
　　６、７日（月、火）　　戸塚区個別支援学級宿泊学習（愛川ふれあいの村）
　　１５、１６、１７日（水、木、金）　後期中間テスト　＊１７日は３年のみ
　　２７日（月）　生徒会役員選挙、開票
１２月　１日（金）　１年校外学習（横浜）
　　１、４、５、６、７（金、月、火、水、木）　３年個人面談
　　６、７、８、１１、１２日（水、木、金、月、火）　１，２年個人面談

小中児童生徒交流日

東俣野小・大正小・小雀小・千秀小からようこそ！

１０月２５日(水)の午後に、来年入学予定の６年児童との交流会が実施されました。

まず、５時間目の授業を見学し、その後は体育館にて、生徒会本部役員から学校での生活や行事、服装等について、スライド利用して説明を行いました。放課後は、部活動見学を行いました。

初めは緊張している感じでしたが、中学生の支援のもとで大正中学校の学校生活の様子についてイメージをつかんでもらえたのではないかと思います。

この取り組みを通して、４月からの中学校入学を楽しみにしてもらえたら、うれしいです。

お知らせ

○令和５年度 保護者教室（後期分）のお知らせ

横浜市立学校に通う全ての児童生徒の保護者の方を対象に、子供との関わり方のヒントとなる学びの一つとして、保護者教室を開催しております。開催方法は、Zoom によるオンラインで、各定員は４９０人、時間は １０：００～１２：００、申し込みは１１月８日から実施日の１週間前の１７時までですが、定員に達した場合は受付終了となります。

＜開催予定＞

○12 月 11 日(月)横浜市総合リハビリテーションセンター発達支援部担当部長
持松 いづみ 氏 難聴の医学

○12 月 20 日(水)横浜障害児を守る連絡協議会・横浜市社会福祉協議会障害者支援センター
瀧澤 久美子 氏 特別なニーズをもつ子どもの子育て
～将来の安定した生活に向けて～

○1月 30 日(火) 元お茶の水大学 教授
安藤 壽子 氏 学習が苦手な子どもへの支援
～読み書きの困難に焦点をあてて～

○2月7日(水) 社会福祉法人 ル・プリ みどり地域活動ホームあおぞら所長
蕨 圭二 氏 地域で安心して暮らしていくために
～ライフステージに応じた障害者地域活動ホーム・基幹相談支援センターの役割～

○2月 27 日(火) 明星大学教育学部 教授
星山 麻木 氏 特性の理解と支援の方法について学ぼう
～自分理解とこども理解～

☆申し込みや詳細は「横浜市のホームページ」にあります。（「横浜市 保護者教室」で検索）
ご案内の用紙が学校にもありますので、必要に応じてお問い合わせください。

○神奈川県公立高等学校 入学者選抜の変更点

すでに報道にもあります通り、令和６年度の入学者選抜からの変更点がいくつかあります。
本校では進路説明会などを通して説明をしており、今後も情報を提供します。

＜主な変更点＞

- 共通の検査は学力検査とし、一般募集の面接は必要な学校のみが実施します。
- 新型コロナ関係による「追加の検査」は実施しません。これまで通り「追検査」は実施します。
- 一部を除き、インターネット出願システムによる出願を導入し、紙による出願は廃止します。
- インクルーシブ教育実践推進校特別募集の志願資格要件が緩和され、新たに４校（全１８校）で特別募集を実施します。

※なお、「インクルーシブ教育実践推進校特別募集」については、早めの理解と準備が重要であるため、１，２年生には資料を添付しますのでご覧ください。